

研究機関：広島大学

研究課題名	肝疾患と Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) の関連に関する疫学研究
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2017年3月(倫理委員会承認後)～ 2031年12月
対象者	2001年1月から2030年12月の間に、当院消化器代謝内科を受診し、急性ないし慢性の肝疾患が疑われた患者さんのうち、「肝疾患の研究のためのデータベース登録」(疫-726)に同意し、血液が保存されている方。また、手術により肝臓を切除または生検により組織を採取し、広島大学病院における病理標本の教育・研究利用に同意し、肝臓組織片が保存されている成人患者さん。
意義・目的	Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)は、慢性ウイルス性肝炎、非アルコール性脂肪肝疾患および原発性胆汁性胆管炎に起因する肝臓線維症の新規血清糖マーカーです。このマーカーは、のちにC型慢性肝炎患者の肝癌発生の予測因子でもあることが報告され、さらに臨床的には肝炎、肝障害、肝細胞再生などの他の要因も反映している可能性が示唆されるなど、まだ用途が探索段階にあり、現時点ではまだ報告のない病態に対しても有益となる可能性があります。本研究では、肝疾患患者の血清 M2BPGi を測定し、新規マーカーである同検査の可能性を探求します。
方法	本研究は、過去の通常診療時に採取された肝臓の組織片と血液サンプルの利用、及び診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、身長、体重、性別、肝組織所見、既往歴、転帰、血液検査です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5191 研究責任者：広島大学医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰 研究担当者：広島大学医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科学 大学院生 盛生 慶